

第5回 自治体の遠隔型連携に関する研究会 議事概要

日 時：平成29年1月13日（金） 10:00～12:00

場 所：日本都市センター会館6階 604会議室

出席者：横道清孝 座長（政策研究大学院大学）、伊藤正次 委員（首都大学東京）、木村俊介 委員（一橋大学）、西田奈保子 委員（福島大学）、高田秀和 委員（豊島区）、檜楨貢 委員（佐世保市）、石川理事・研究室長、池田研究室副室長、千葉研究員、劔持研究員、三浦研究員、三好研究員（事務局：日本都市センター）

議事要旨

- ・ 現地調査報告（佐久市）
- ・ 報告書に関する議論

1 現地調査報告—長野県佐久市の取組み

- ・ 佐久市は地域資源を生かした CCRC（生涯活躍のまち）構想を計画している。特定の団体との連携ではなく、オープンな形で定住促進を図っている。
- ・ 地域資源では、総合病院を中心とした地域医療や JR 東日本と連携し、新幹線往復割引を実施していることが挙げられる。
- ・ 目標は、サービス付き高齢者向け住宅を整備することにより、40 世帯 50 人を移住者として確保する。
- ・ ある程度の時間をかけて移住促進を行い、移住者の年齢層に幅をもたせることを狙いとしている。
- ・ CCRC 構想を進めていく上で、佐久市単独ではなく長野県と連携することが重要である。市と県の観光協会の力が違うため、特に観光分野では協力体制を構築していく。

2 報告書に関する議論

(1) 内容

- ・ 各章ごとに用語や平仄を合わせる形でまとめていく。
- ・ 一部事務組合等の広域連携の制度は遠隔型連携について想定していないと思われるが、フランスやドイツ等の外国に比べ、日本の共同処理方式は制約が少ないため、活用の可能性はある。

(2) タイトル

- ・ 報告書のタイトルを「自治体の遠隔型連携の課題と展望—新たな広域連携の可能性—」とする。

(3) スケジュール

- ・ 1月下旬を目途に入稿し、3回の校正を行った後、3月下旬に刊行する。

（文責：日本都市センター）